

# 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年12月10日設定）	
運用方針	世界の国際機関債等へ投資をすることにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）	新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを主要投資対象とします。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
	豪ドル債マザーファンド	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組入制限	高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	豪ドル債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月24日（決算日が休日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配対象額の範囲は、利子・配当収入と売買益（評価益を含みません。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して分配します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

## 運用報告書（全体版）

第196期（決算日	2025年6月24日）
第197期（決算日	2025年7月24日）
第198期（決算日	2025年8月25日）
第199期（決算日	2025年9月24日）
第200期（決算日	2025年10月24日）
第201期（決算日	2025年11月25日）

受益者のみなさまへ

平素は「高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第196期から第201期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

**MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉  
サポートデスク 0120-565787  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

## ◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			参考指数	債組比	券入率	純資産額
		(分配落)	税込配分	み金騰落率				
		円	円	%	%	%	百万円	
第30作成期	(第172期) 2023年 6月26日	4,415	15	4.5	338.89	6.4	92.9	1,077
	(第173期) 2023年 7月24日	4,382	15	△0.4	342.26	1.0	93.7	1,051
	(第174期) 2023年 8月24日	4,341	15	△0.6	341.55	△0.2	94.2	1,030
	(第175期) 2023年 9月25日	4,423	15	2.2	342.82	0.4	95.2	1,037
	(第176期) 2023年10月24日	4,298	15	△2.5	337.40	△1.6	94.7	975
	(第177期) 2023年11月24日	4,439	15	3.6	356.02	5.5	94.1	999
第31作成期	(第178期) 2023年12月25日	4,372	15	△1.2	348.80	△2.0	94.7	962
	(第179期) 2024年 1月24日	4,380	15	0.5	357.62	2.5	94.2	947
	(第180期) 2024年 2月26日	4,426	15	1.4	362.58	1.4	93.8	937
	(第181期) 2024年 3月25日	4,471	10	1.2	365.52	0.8	93.7	938
	(第182期) 2024年 4月24日	4,496	10	0.8	366.44	0.3	94.2	930
	(第183期) 2024年 5月24日	4,705	10	4.9	380.43	3.8	93.5	955
第32作成期	(第184期) 2024年 6月24日	4,673	10	△0.5	379.60	△0.2	93.9	939
	(第185期) 2024年 7月24日	4,543	10	△2.6	377.42	△0.6	93.2	897
	(第186期) 2024年 8月26日	4,260	10	△6.0	366.38	△2.9	92.6	836
	(第187期) 2024年 9月24日	4,290	10	0.9	369.99	1.0	93.6	838
	(第188期) 2024年10月24日	4,439	10	3.7	378.28	2.2	93.0	859
	(第189期) 2024年11月25日	4,462	10	0.7	377.77	△0.1	92.4	853
第33作成期	(第190期) 2024年12月24日	4,426	10	△0.6	380.06	0.6	91.7	833
	(第191期) 2025年 1月24日	4,478	10	1.4	382.33	0.6	91.2	816
	(第192期) 2025年 2月25日	4,382	10	△1.9	372.63	△2.5	90.7	781
	(第193期) 2025年 3月24日	4,316	10	△1.3	374.68	0.6	91.1	764
	(第194期) 2025年 4月24日	4,154	10	△3.5	365.90	△2.3	92.5	732
	(第195期) 2025年 5月26日	4,271	10	3.1	375.47	2.6	91.8	747
第34作成期	(第196期) 2025年 6月24日	4,417	10	3.7	388.83	3.6	91.3	769
	(第197期) 2025年 7月24日	4,517	10	2.5	398.69	2.5	92.0	780
	(第198期) 2025年 8月25日	4,595	10	1.9	403.41	1.2	91.2	771
	(第199期) 2025年 9月24日	4,695	10	2.4	412.96	2.4	90.4	779
	(第200期) 2025年10月24日	4,850	10	3.5	426.21	3.2	91.4	794
	(第201期) 2025年11月25日	4,972	10	2.7	440.18	3.3	91.0	802

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注4) J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド)は J.P.Morgan Securities LLC(J P モルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

## ◎ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組 入 率
		円	騰 落 率 %		騰 落 率 %	
第196期	(期 首)2025年 5月26日	4,271	—	375.47	—	91.8
	5月末	4,293	0.5	381.37	1.6	91.9
	(期 末)2025年 6月24日	4,427	3.7	388.83	3.6	91.3
第197期	(期 首)2025年 6月24日	4,417	—	388.83	—	91.3
	6月末	4,426	0.2	390.79	0.5	91.3
	(期 末)2025年 7月24日	4,527	2.5	398.69	2.5	92.0
第198期	(期 首)2025年 7月24日	4,517	—	398.69	—	92.0
	7月末	4,547	0.7	400.45	0.4	92.8
	(期 末)2025年 8月25日	4,605	1.9	403.41	1.2	91.2
第199期	(期 首)2025年 8月25日	4,595	—	403.41	—	91.2
	8月末	4,585	△0.2	403.49	0.0	91.3
	(期 末)2025年 9月24日	4,705	2.4	412.96	2.4	90.4
第200期	(期 首)2025年 9月24日	4,695	—	412.96	—	90.4
	9月末	4,720	0.5	412.90	△0.0	90.6
	(期 末)2025年10月24日	4,860	3.5	426.21	3.2	91.4
第201期	(期 首)2025年10月24日	4,850	—	426.21	—	91.4
	10月末	4,876	0.5	430.41	1.0	91.3
	(期 末)2025年11月25日	4,982	2.7	440.18	3.3	91.0

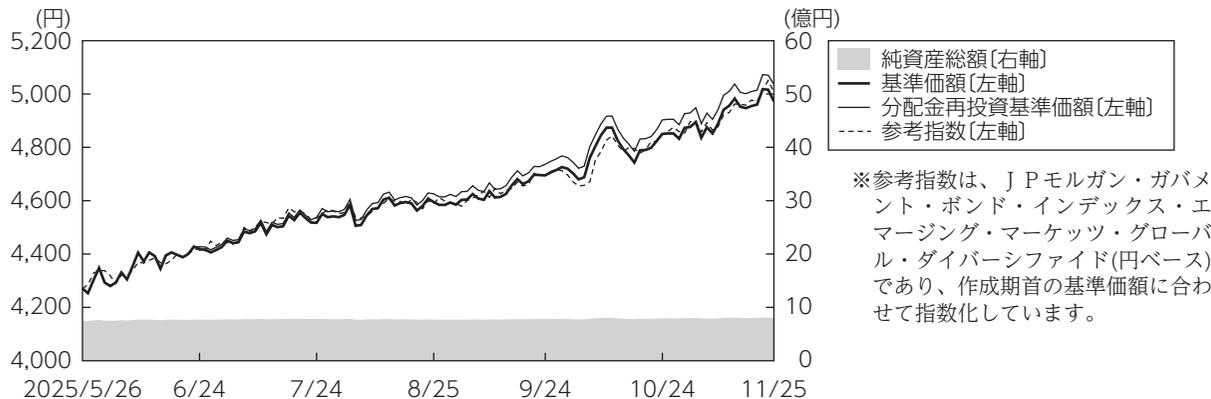
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージェンシング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## 運用経過の説明

## ■ 基準価額等の推移



第196期首(2025年 5月26日)：4,271円

第201期末(2025年11月25日)：4,972円(既払分配金60円)

騰落率：17.9%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・組み入れているすべての通貨が円に対して上昇したこと

## 【組入ファンドの作成対象期間における騰落率】

組入ファンド	騰落率
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	21.6%
豪ドル債マザーファンド	10.3%

## 投資環境

### 債券市場

#### (ブラジル)

当作成期のブラジル長期金利は小幅に低下（債券価格は上昇）しました。インフレ率が目標（3%）を大きく上回る水準で推移しました。中央銀行は2025年6月に政策金利を引き上げ、その後の会合では政策金利を据え置きました。長期金利は7月から9月にかけてはもみ合いの展開が続きましたが、10月のインフレ率が市場予想を下回る結果となりインフレ率の正常化への期待から小幅に低下しました。

#### (メキシコ)

当作成期のメキシコ長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。インフレ率は緩やかに低下し、7月以降は目標範囲内（2~4%）で推移しました。経済成長の鈍化が顕著となる中、中央銀行は継続的な金融緩和を実施し、4会合連続で政策金利の引き下げを決定しました。米国の関税政策による景気減速懸念と緩和的な金融政策を背景に、長期金利は低下基調で推移しました。

#### (トルコ)

当作成期のトルコ長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。高インフレが持続する中、中央銀行は慎重な金融緩和姿勢に転換しました。中央銀行は、3回政策金利の引き下げを実施しましたが、10月の会合では利下げ幅を縮小しました。インフレ率は低下基調にあるものの、低下幅が鈍化していることが意識されており、長期金利は6月にかけて低下したもののその後はもみ合いの展開が続きました。

#### (南アフリカ)

当作成期の南アフリカ長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。インフレ率が目標範囲（3~6%）の下限近くで安定的に推移する中、中央銀行は5月と7月に政策金利の引き下げを決定しました。インフレ目標を従来の4.5%から3%に変更する方針が正式に承認されたことにより経済の改善が期待され、また主要格付機関が信用格付けを1段階引き上げたことを受け長期金利は低下しました。

#### (オーストラリア)

当作成期のオーストラリア長期金利は小幅に上昇（債券価格は下落）しました。インフレ率が概ね目標（2~3%）の範囲で推移する中、中央銀行は8月に政策金利の引き下げを行いました。米国と主要貿易国である中国の貿易摩擦についての進展を受け長期金利は上下に振れる展開になる中、前作成期末対比では小幅に上昇しました。

**為替市場****(ブラジルリアル)**

当作成期のブラジルリアルは円に対して上昇しました。ブラジル、日本ともに金融政策が引き締め方向で推移する中、作成期初は原油価格の高騰もあり上昇しました。その後も、米国による関税政策がブラジル経済へ不確実性を与える中、ブラジルの最大貿易相手国である中国と米国間の貿易摩擦についての進展を受け、前作成期末対比で上昇しました。

**(メキシコペソ)**

当作成期のメキシコペソは円に対して上昇しました。当作成期中メキシコは4回の利下げを行いました。概ねインフレ率が目標範囲上限(4%)内で安定的に推移していることから、今後金融緩和のサイクルを縮小するとの見方が強く、前作成期末対比で上昇しました。

**(トルコリラ)**

当作成期のトルコリラは円に対してほぼ横ばいとなりました。中央銀行は、3回政策金利の引き下げを実施しましたが、10月の会合では利下げ幅を縮小しました。現政権における政治の先行不透明感が高まっており下落基調で進みましたが、2025年10月以降は日本の財政懸念による円安が進んだこともあり、前作成期末対比でほぼ横ばいとなりました。

**(南アフリカランド)**

当作成期の南アフリカランドは円に対して上昇しました。インフレ率が目標範囲(3~6%)の下限近くで安定的に推移する中、中央銀行は5月と7月に政策金利の引き下げを決定しました。インフレ目標を従来より引き下げの決定や、また主要格付機関が信用格付けを1ノッチ引き上げたことを受け、南アフリカ・ランドは円に対して上昇しました。

**(豪ドル)**

当作成期の豪ドルは円に対して上昇しました。中央銀行は8月に政策金利の引き下げを決定しました。主要輸出品である金の価格が高騰したことや、10月末に行われた米中首脳会談により両国の貿易摩擦の緩和期待が高まったこと等を受け、豪ドルは円に対して上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

### 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

作成期首の運用方針に基づき、新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。両マザーファンドの投資比率合計を高位に維持しました。

当作成期を通じて新興国通貨建国際機関債マザーファンドは概ね80%程度、豪ドル債マザーファンドは概ね20%程度組み入れました。

#### 【信託財産の状況】

	作成期首	作成期末
外国債券	91.8%	91.0%
経過利息、現金等その他	8.2%	9.0%
組入銘柄数	16	15
デュレーション	1.9年	2.2年
残存年数	2.1年	2.4年
複利回り	14.6%	13.1%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※外国債券、経過利息、現金等その他の組入比率についてはマザーファンドへの投資を通じた数値

※格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付を採用

※デュレーション：投資元本の平均回収期間のことで、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわします。デュレーションが長い(大きい)ほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。金利が低下した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく上昇します。一方、金利が上昇した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく下落します。

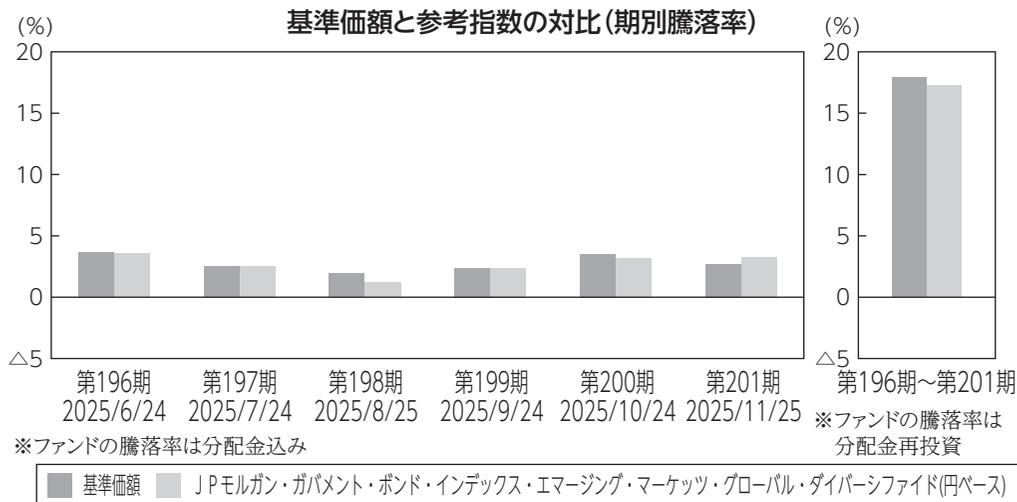
### 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建（ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド）で取得時においてA a a格相当の格付けを取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首1.7年でしたが、作成期末を2.1年としました。

### 豪ドル債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a格相当の格付けを取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首2.7年でしたが、作成期末を2.3年としました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

上記グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当作成期の基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率は+17.9%となり、参考指数の騰落率は+17.2%となりました。

## ■ 分配金

当ファンドの収益分配金は分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案して1万口当たり次表のとおりとさせていただきます。収益分配にあらず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第196期	第197期	第198期	第199期	第200期	第201期
	2025年5月27日～ 2025年6月24日	2025年6月25日～ 2025年7月24日	2025年7月25日～ 2025年8月25日	2025年8月26日～ 2025年9月24日	2025年9月25日～ 2025年10月24日	2025年10月25日～ 2025年11月25日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.226	0.221	0.217	0.213	0.206	0.201
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	978	1,005	1,035	1,065	1,097	1,132

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

引き続き、新興国通貨建国際機関債マザーファンド、豪ドル債マザーファンドへの投資を通じて世界の国際機関債等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行う方針です。両マザーファンドへの投資比率合計を高位に保つ方針です。

### 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率を高位に維持しつつ、国際機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

### 豪ドル債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、米州開発銀行、アジア開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	第196期～第201期		項目の概要
	2025年5月27日～2025年11月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	28円	0.607%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は4,574円です。
(投信会社)	(13)	(0.276)	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
(販売会社)	(14)	(0.303)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.028)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.018	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	29	0.625	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

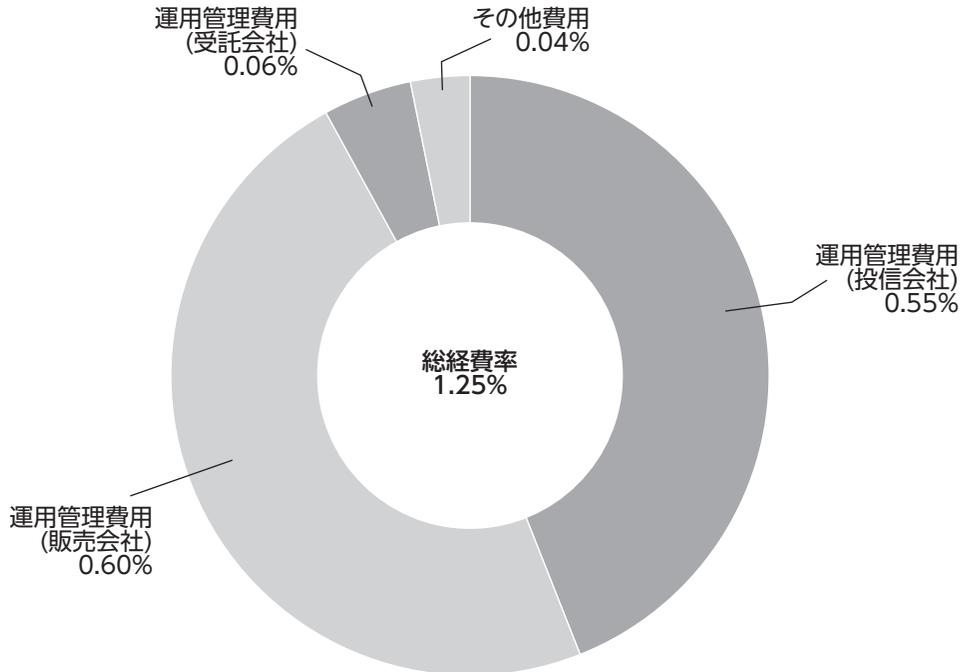
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報) 総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ◎売買及び取引の状況 (2025年5月27日～2025年11月25日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第 196 期 ～ 第 201 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 33,691	千円 75,000

(注) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等 (2025年5月27日～2025年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○親投資信託残高

種 類	第33作成期末	第 34 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 291,086	千口 257,394	千円 624,388
豪ドル債マザーファンド	50,824	50,824	153,119

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(257,394千口)です。

(注3) 豪ドル債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(50,824千口)です。

## ◎投資信託財産の構成

2025年11月25日現在

項 目	第 34 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	624,388	77.4
豪ドル債マザーファンド	153,119	19.0
コール・ローン等、その他	28,964	3.6
投資信託財産総額	806,471	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(618,659千円)の投資信託財産総額(624,394千円)に対する比率は99.1%です。

(注3) 豪ドル債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(147,943千円)の投資信託財産総額(153,117千円)に対する比率は96.6%です。

(注4) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=156.87円、1メキシコペソ=8.4703円、1ブラジルレアル=29.0785円、1ユーロ=180.73円、1トルコリラ=3.6965円、1オーストラリアドル=101.34円、1南アフリカランド=9.07円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年6月24日現在 2025年7月24日現在 2025年8月25日現在 2025年9月24日現在 2025年10月24日現在 2025年11月25日現在

項 目	第196期末	第197期末	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末
(A) 資 産	774,771,106円	783,084,582円	777,034,625円	785,462,918円	797,853,446円	806,471,849円
コール・ローン等	37,254,262	30,772,757	33,908,033	33,179,393	27,613,722	28,963,845
新興国通貨建国際機関債マザーファンド(評価額)	595,644,484	606,856,387	598,697,783	604,917,057	619,300,335	624,388,223
豪ドル債マザーファンド(評価額)	141,872,003	145,455,143	144,428,484	147,366,150	150,939,125	153,119,504
未 収 利 息	357	295	325	318	264	277
(B) 負 債	4,878,179	2,506,025	5,695,794	6,290,545	2,887,227	4,467,165
未 払 収 益 分 配 金	1,742,936	1,728,198	1,678,708	1,659,538	1,639,137	1,613,107
未 払 解 約 金	2,401,248	102	3,188,841	3,857,697	462,448	2,001,596
未 払 信 託 報 酬	730,683	774,214	824,509	769,820	782,098	848,617
そ の 他 未 払 費 用	3,312	3,511	3,736	3,490	3,544	3,845
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	769,892,927	780,578,557	771,338,831	779,172,373	794,966,219	802,004,684
元 本	1,742,936,839	1,728,198,764	1,678,708,496	1,659,538,164	1,639,137,980	1,613,107,281
次 期 繰 越 損 益 金	△ 973,043,912	△ 947,620,207	△ 907,369,665	△ 880,365,791	△ 844,171,761	△ 811,102,597
(D) 受 益 権 総 口 数	1,742,936,839口	1,728,198,764口	1,678,708,496口	1,659,538,164口	1,639,137,980口	1,613,107,281口
1万円当たり基準価額(C/D)	4,417円	4,517円	4,595円	4,695円	4,850円	4,972円

(注1) 当ファンドの第196期首元本額は1,750,526,349円、第196～201期中追加設定元本額は11,524,903円、第196～201期中一部解約元本額は148,943,971円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第196期0.4417円、第197期0.4517円、第198期0.4595円、第199期0.4695円、第200期0.4850円、第201期0.4972円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第196期973,043,912円、第197期947,620,207円、第198期907,369,665円、第199期880,365,791円、第200期844,171,761円、第201期811,102,597円です。

## ◎損益の状況

項目	〔自 2025年5月27日 至 2025年6月24日〕	〔自 2025年6月25日 至 2025年7月24日〕	〔自 2025年7月25日 至 2025年8月25日〕	〔自 2025年8月26日 至 2025年9月24日〕	〔自 2025年9月25日 至 2025年10月24日〕	〔自 2025年10月25日 至 2025年11月25日〕
	第196期	第197期	第198期	第199期	第200期	第201期
(A) 配当等収益	7,732円	8,749円	5,820円	7,467円	6,813円	6,614円
受取利息	7,732	8,749	5,820	7,467	6,813	6,614
(B) 有価証券売買損益	27,917,804	19,687,433	15,610,447	19,064,347	27,785,283	22,115,833
売買益	28,037,996	19,795,041	16,847,471	19,162,743	27,959,588	22,282,595
売買損	△ 1,207,192	△ 1,107,608	△ 1,237,024	△ 98,396	△ 174,305	△ 166,762
(C) 信託報酬等	△ 733,995	△ 777,725	△ 828,245	△ 773,310	△ 785,642	△ 852,462
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	27,191,541	18,918,457	14,788,022	18,298,504	27,006,454	21,269,985
(E) 前期繰越損益金	△502,416,280	△472,535,840	△441,937,739	△423,332,885	△401,407,303	△369,756,819
(F) 追加信託差損益金	△496,076,237	△492,274,626	△478,541,240	△473,671,872	△468,131,775	△461,002,656
(配当等相当額)	( 18,313,323)	( 18,294,954)	( 17,899,419)	( 17,915,466)	( 17,813,787)	( 17,667,426)
(売買損益相当額)	(△514,389,560)	(△510,569,580)	(△496,440,659)	(△491,587,333)	(△485,945,562)	(△478,670,082)
(G) 計(D+E+F)	△971,300,976	△945,892,009	△905,690,957	△878,706,258	△842,532,624	△809,489,490
(H) 収益分配金	△ 1,742,936	△ 1,728,198	△ 1,678,708	△ 1,659,538	△ 1,639,137	△ 1,613,107
次期繰越損益金(G+H)	△973,043,912	△947,620,207	△907,369,665	△880,365,791	△844,171,761	△811,102,597
追加信託差損益金	△496,076,237	△492,274,626	△478,541,240	△473,671,872	△468,131,775	△461,002,656
(配当等相当額)	( 18,322,756)	( 18,297,786)	( 17,902,298)	( 17,921,833)	( 17,816,197)	( 17,670,642)
(売買損益相当額)	(△514,398,993)	(△510,572,412)	(△496,443,538)	(△491,593,705)	(△485,947,972)	(△478,673,298)
分配準備積立金	152,222,484	155,502,840	155,903,685	158,899,097	162,007,809	165,021,047
繰越損益金	△629,190,159	△610,848,421	△584,732,110	△565,593,016	△538,047,795	△515,120,988

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第196期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,472,525円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,322,756円)および分配準備積立金(147,492,895円)より分配対象収益は172,288,176円(10,000口当たり988円)であり、うち1,742,936円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第197期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,422,960円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,297,786円)および分配準備積立金(150,808,078円)より分配対象収益は175,528,824円(10,000口当たり1,015円)であり、うち1,728,198円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第198期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,658,401円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(17,902,298円)および分配準備積立金(150,923,992円)より分配対象収益は175,484,691円(10,000口当たり1,045円)であり、うち1,678,708円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第199期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,652,894円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(17,921,833円)および分配準備積立金(153,905,741円)より分配対象収益は178,480,468円(10,000口当たり1,075円)であり、うち1,659,538円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第200期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,813,375円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(17,816,197円)および分配準備積立金(156,833,571円)より分配対象収益は181,463,143円(10,000口当たり1,107円)であり、うち1,639,137円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第201期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,333,302円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(17,670,642円)および分配準備積立金(159,300,852円)より分配対象収益は184,304,796円(10,000口当たり1,142円)であり、うち1,613,107円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

## ◎収益分配金のお知らせ

決 算 期	第196期	第197期	第198期	第199期	第200期	第201期
1万口当たりの分配金(税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

## ※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

## ※分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

## 課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

# 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

## 運用報告書

第17期

(決算日 2025年11月25日)

「新興国通貨建国際機関債マザーファンド」は、2025年11月25日に第17期決算を行いました。  
以下、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	債組比	券入率	純資産額
	円	騰落率				
(第13期) 2021年11月24日	13,949	△ 0.2	280.16	2.6	92.7	百万円 904
(第14期) 2022年11月24日	17,461	25.2	295.94	5.6	95.8	858
(第15期) 2023年11月24日	19,460	11.4	356.02	20.3	97.5	771
(第16期) 2024年11月25日	20,346	4.6	377.77	6.1	95.1	659
(第17期) 2025年11月25日	24,258	19.2	440.18	16.5	93.6	624

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注2) J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド)は J . P . M o r g a n S e c u r i t i e s L L C ( J P モルガン) が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	債組比	券入率
	円	騰落率			
(期首) 2024年11月25日	20,346	—	377.77	—	95.1
11月末	19,604	△ 3.6	370.83	△ 1.8	95.0
12月末	20,473	0.6	381.10	0.9	94.1
2025年 1月末	20,556	1.0	381.02	0.9	93.4
2月末	20,182	△ 0.8	372.62	△ 1.4	93.6
3月末	19,828	△ 2.5	377.24	△ 0.1	93.1
4月末	19,465	△ 4.3	368.54	△ 2.4	95.7
5月末	20,095	△ 1.2	381.37	1.0	95.2
6月末	20,853	2.5	390.79	3.4	95.0
7月末	21,582	6.1	400.45	6.0	95.2
8月末	21,896	7.6	403.49	6.8	94.3
9月末	22,723	11.7	412.90	9.3	93.1
10月末	23,598	16.0	430.41	13.9	94.0
(期末) 2025年11月25日	24,258	19.2	440.18	16.5	93.6

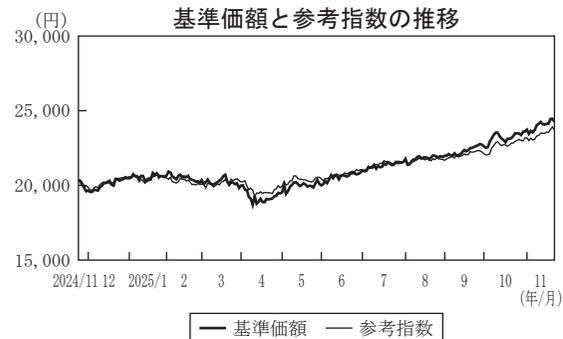
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2024年11月26日～2025年11月25日)

## 1 基準価額

## 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首20,346円で始まり、期末24,258円で終わりました。騰落率は+19.2%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・各国中央銀行の金融政策により、高止まりしていたインフレ率が中央銀行の目標範囲内に収まりはじめるなど各国の経済が安定してきている一方で、日本は財政支出の拡大懸念が強まっていることから、トルコリラを除く組み入れ通貨が円に対して上昇したこと

## 2 運用経過

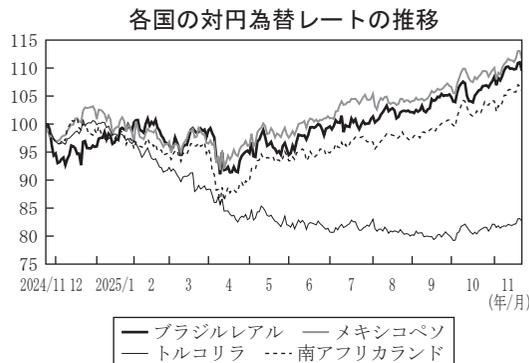
## 運用概況

期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建(ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド)で取得時においてA a a相当格の格付けを取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように、国際復興開発銀行、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

## 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	95.1%	93.6%
経過利息、現金等その他	4.9%	6.4%
組入銘柄数	12	12
デュレーション	1.9年	2.1年
残存年数	2.1年	2.4年
複利回り	16.5%	15.4%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用



※各国の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値等)は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年11月26日～2025年11月25日		
	金額	比率	
(a) その他費用	7円	0.033%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は20,904円です。
(保管費用)	(7)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	7	0.033	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2024年11月26日～2025年11月25日)

## ○公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ —	千メキシコペソ 4,084
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル 3,548	千ブラジルリアル 4,640
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 4,867	千トルコリラ 7,913
国	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 6,620	千南アフリカランド 10,091

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2024年11月26日～2025年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 20,700	千メキシコペソ 18,783	千円 159,098	% 25.5	% —	% —	% 3.9	% 21.5
ブ ラ ジ ル	千ブラジルリアル 5,100	千ブラジルリアル 4,923	143,164	22.9	—	—	22.9	—
ト ル コ	千トルコリラ 46,800	千トルコリラ 37,478	138,538	22.2	—	—	—	22.2
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 16,980	千南アフリカランド 15,833	143,611	23.0	—	—	19.3	3.7
合 計	—	—	584,414	93.6	—	—	46.2	47.4

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)－印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	種類	利率	当 期		末		償還年月日
			額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
INT BK RECON&DEV 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	17,700	15,871	134,437	2027/ 3/13	
INT BK RECON&DEV 7.07%		7.07	3,000	2,911	24,661	2029/ 6/26	
小 計					159,098		
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
INT BK RECON&DEV 5.75%	特殊債券 (除く金融債)	5.75	1,400	1,255	36,508	2028/ 1/14	
INT BK RECON&DEV 9.5%		9.5	1,000	968	28,159	2029/ 2/ 9	
INTL FIN CORP 11.5%		11.5	2,700	2,699	78,496	2030/ 1/16	
小 計					143,164		
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ			
COUNCIL OF EUROP 28%	特殊債券 (除く金融債)	28.0	21,000	19,152	70,795	2027/ 3/22	
EURO BK RECON&DV 0%		—	20,000	13,023	48,141	2027/ 4/12	
EURO BK RECON&DV 28%		28.0	5,800	5,302	19,602	2027/ 9/27	
小 計					138,538		
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド			
EUROPEAN INVT BK 7.25%	特殊債券 (除く金融債)	7.25	6,700	6,827	61,923	2030/ 1/23	
INT BK RECON&DEV 0%		—	7,000	5,659	51,334	2028/12/29	
INT BK RECON&DEV 8.25%		8.25	2,480	2,515	22,815	2026/12/21	
INTL FIN CORP 8.25%		8.25	800	831	7,538	2029/ 4/ 2	
小 計					143,611		
合 計					584,414		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「INTL FIN CORP」は「国際金融公社」・「COUNCIL OF EUROP」は「欧州評議会開発銀行」・「EURO BK RECON&DV」は「欧州復興開発銀行」・「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」です。

## ◎投資信託財産の構成

2025年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	584,414	93.6
コール・ローン等、その他	39,980	6.4
投資信託財産総額	624,394	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(618,659千円)の投資信託財産総額(624,394千円)に対する比率は99.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=156.87円、1メキシコペソ=8.4703円、1ブラジルレアル=29.0785円、1ユーロ=180.73円、1トルコリラ=3.6965円、1南アフリカランド=9.07円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年11月25日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	624,394,580
コール・ローン等	△ 9,321,894
公 社 債(評価額)	584,414,116
未 収 入 金	14,003,619
未 収 利 息	27,997,217
前 払 費 用	7,301,522
(B) 純 資 産 総 額(A)	624,394,580
元 本	257,394,766
次 期 繰 越 損 益 金	366,999,814
(C) 受 益 権 総 口 数	257,394,766口
1万口当たり基準価額(B/C)	24,258円

## ◎損益の状況

自 2024年11月26日  
至 2025年11月25日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	81,163,771
受 取 利 息	81,162,247
そ の 他 収 益 金	1,524
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	26,120,286
売 買 益	60,391,365
売 買 損	△ 34,271,079
(C) 信 託 報 酬 等	△ 197,671
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	107,086,386
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	335,255,051
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 75,341,623
(G) 計 (D+E+F)	366,999,814
次 期 繰 越 損 益 金(G)	366,999,814

(注1) 当親ファンドの期首元本額は324,053,143円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は66,658,377円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)257,394,766円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2.4258円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 【お知らせ】

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に運用状況に係る情報の提供について所定の整備を行いました。(2025年4月1日)

# 豪ドル債マザーファンド

## 運用報告書

第17期

(決算日 2025年11月25日)

「豪ドル債マザーファンド」は、2025年11月25日に第17期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	債組比	券入率	純資産額
	期騰落	率				
(第13期) 2021年11月24日	円	%				百万円
	22,736	7.0	357.24	3.6	97.6	239
(第14期) 2022年11月24日						
	24,853	9.3	365.78	2.4	97.6	214
(第15期) 2023年11月24日						
	26,788	7.8	376.54	2.9	97.1	194
(第16期) 2024年11月25日						
	28,566	6.6	403.73	7.2	96.9	166
(第17期) 2025年11月25日						
	30,127	5.5	426.34	5.6	94.8	153

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

(注2)FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	債組比	券入率
	騰落	率			
(期首)2024年11月25日	円	%			%
	28,566	—	403.73	—	96.9
11月末					
	27,855	△2.5	396.18	△1.9	96.9
12月末					
	28,161	△1.4	399.35	△1.1	96.6
2025年 1月末					
	27,565	△3.5	390.54	△3.3	96.9
2月末					
	26,918	△5.8	381.73	△5.4	96.6
3月末					
	27,270	△4.5	384.06	△4.9	96.3
4月末					
	26,787	△6.2	380.48	△5.8	96.4
5月末					
	27,237	△4.7	384.59	△4.7	96.2
6月末					
	28,001	△2.0	399.49	△1.1	96.0
7月末					
	28,521	△0.2	405.06	0.3	95.7
8月末					
	28,551	△0.1	404.75	0.3	95.4
9月末					
	29,082	1.8	412.42	2.2	95.2
10月末					
	30,032	5.1	427.98	6.0	95.0
(期末)2025年11月25日					
	30,127	5.5	426.34	5.6	94.8

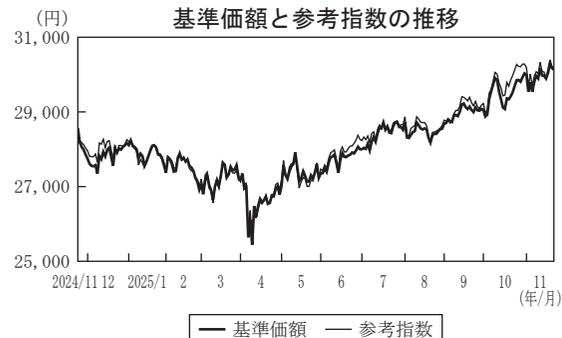
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2024年11月26日～2025年11月25日)

## 1 基準価額

## 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首28,566円で始まり、期末30,127円で終わりました。騰落率は+5.5%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・オーストラリアについてインフレ率が概ね目標(2~3%)の範囲で推移する中、オーストラリア最大の貿易相手国である中国と米国間の貿易摩擦が落ち着きを見せた一方で、日本の財政支出拡大懸念の強まりを受けて2025年4月中旬から期末にかけて豪ドルが円に対して上昇したこと

## (下落要因)

- ・米国の相互関税強化の動きを受けて期首から4月初旬にかけて豪ドルが円に対して下落したこと

## 2 運用経過

## 運用概況

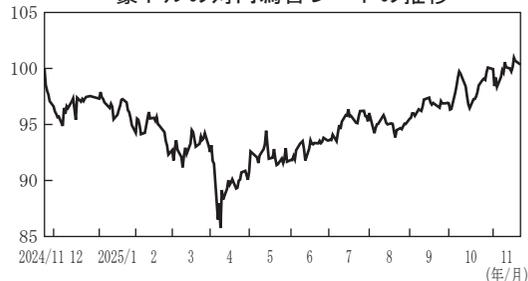
期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a相当格の格付けを取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。当期においては国際復興開発銀行、米州開発銀行、アジア開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

## 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	96.9%	94.8%
経過利息、現金等その他	3.1%	5.2%
組入銘柄数	4	3
デュレーション	2.9年	2.3年
残存年数	3.1年	2.4年
複利回り	4.5%	4.0%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

## 豪ドルの対円為替レートの推移



※上記通貨の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、米州開発銀行、アジア開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年11月26日～2025年11月25日		
	金額	比率	
(a) その他費用	9円	0.034%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は27,998円です。
(保管費用)	(8)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	9	0.034	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2024年11月26日～2025年11月25日)

## ○公社債

			買付額	売付額
外国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 188

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2024年11月26日～2025年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

## ○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,450	千オーストラリアドル 1,432	千円 145,175	% 94.8	% —	% —	% 52.2	% 42.6
合 計	1,450	1,432	145,175	94.8	—	—	52.2	42.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) -印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	当 期				末		
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
ASIAN DEV BANK 3.4%	特殊債券 (除く金融債)	3.4	650	644	65,280	2027/9/10	
INT BK RECON&DEV 4.4%		4.4	370	372	37,702	2028/1/13	
INTERAMER DEV BK 3.15%		3.15	430	416	42,193	2029/6/26	
合 計					145,175		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「ASIAN DEV BANK」は「アジア開発銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「INTERAMER DEV BK」は「米州開発銀行」です。

## ◎投資信託財産の構成

2025年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	145,175	94.8
コール・ローン等、その他	7,942	5.2
投資信託財産総額	153,117	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(147,943千円)の投資信託財産総額(153,117千円)に対する比率は96.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=101.34円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年11月25日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	153,117,330
コール・ローン等	6,293,475
公社債(評価額)	145,175,892
未 収 利 息	1,647,963
(B) 純 資 産 総 額(A)	153,117,330
元 本	50,824,677
次 期 繰 越 損 益 金	102,292,653
(C) 受 益 権 総 口 数	50,824,677口
1万口当たり基準価額(B/C)	30,127円

## ◎損益の状況

自 2024年11月26日  
至 2025年11月25日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	5,418,342
受 取 利 息	5,418,342
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,570,413
売 買 益	3,114,915
売 買 損	△ 1,544,502
(C) 信 託 報 酬 等	△ 49,791
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	6,938,964
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	108,004,599
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 12,650,910
(G) 計 (D+E+F)	102,292,653
次 期 繰 越 損 益 金(G)	102,292,653

(注1) 当親ファンドの期首元本額は58,173,767円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は7,349,090円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)50,824,677円です。

(注3) 1口当たり純資産額は3.0127円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 【お知らせ】

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に運用状況に係る情報の提供について所定の整備を行いました。(2025年4月1日)